

奨励賞 仙都魚類株式会社

—all水産で取り組む魚食普及—

仙都魚類株式会社は、仙台市中央卸売市場内を本拠地とする卸売会社です。仙台市場では6社からなる「お魚普及協会」による様々な活動が昭和52年から行われてきました。

現在は、旬の魚を使ったメニュー提案や地元企業と連携した料理教室等で魚食普及活動を行っています。

仙都魚類株式会社は2017年度に魚の国のしあわせ大賞【実証事業部門】奨励賞を受賞されました。

本レポートではその取組の一部をご紹介します。



奨励賞表彰状授与の様子

(左)仙都魚類株式会社
芹川 清一 氏

仙都魚類株式会社の

業務統括室長 芹川 清一様にインタビューを行いました！

1. インタビュー

(1)事業とその狙いを教えてください。

- 仙台市場では卸売業社や仲卸業社、小売業社で取り組む「お魚普及協会」があります。この協会は昭和52年3月に立ち上げられ、それ以降、テレビ出演や学校での出張授業など様々な活動を行ってきました。
- 料理教室や売場のメニュー提案は普段魚を扱わない人々に魚をアピールする良い機会です。定期的に「旬の魚の提案会」で魚をアピールしています。
- 1社だけでは活動が難しくなっています。また魚を扱う会社だけではなく、野菜など他の業界の会社とも協力して活動を行う必要があります。成果は見えづらいですが、継続的にやっていく必要があると感じています。

(2)事業のこれまでの成果を教えてください。

地元のガス局のショールームで 年4回料理教室を行ってきました。直近では社員を講師として、はらこ飯の作り方を若いお母さんを中心に教えました。また、中学校では3年生を対象に授業でさんまのつみれ汁の料理教室を行いました。

これらの活動の成果は、直接は見えづらいですが、継続的に活動をつづけることで魚を食べる人が増え、売上げなどに影響があると良いなと思っています。



平成30年10月16日 ガス局ショールームで行われた料理教室の様子

(3)これまでの成果や反響を踏まえて、今後の取組における課題があれば教えてください。

魚が好き、魚は体に良いと思っている人は多いですが、そのことと魚をよく食べるかどうかはイコールではありません。料理教室の場では作っても、家庭でも作れるようになるのは難しいです。ただ、料理教室を通して魚に対する思い入れができ、魚を食べる頻度が例えば週1回から2回に増えてくれれば良いと思います。小さな変化ですが、地道に続けることで魚食普及につながると思います。



平成30年8月26日
仙台市場親子市場見学会の様子



平成30年8月 シーフードショーにて宮城県の
新ブランド「伊達いわな」をアピール

(4)事業の今後の展望について教えてください。

食育・魚食の推進には、他の業種とのコラボが欠かせないと考えています。水産関連業者だけではなく、野菜を扱う業者等とやっていくことが必要なのではないかと思えます。例えば展示会で料理メニューを提案する際、魚だけでなく青果や野菜の人にも提案してもらい、より美味しいメニューを消費者の人々に提供することを考えています。今後はこのような活動に積極的に取り組みたいです。

(5)最後にホームページをご覧になっている方へ、一言お願いします。

私たち卸売業者の役割は生産者と消費者の橋渡しであり、両側の代表者でもあります。情報を集約し、より良い魚食普及を行えるよう活動を地道に続けていきます。



平成30年11月2日に市場内で行った「鮭の日」の
試食提案会では「はらこ飯」の試食を行った



平成30年9月12日
年末商品展示提案会の様子